

第7回 WRJ チャリティーリレー for AFRICA 開催!!



キッズと親子のスタート風景

～ ご参加頂き有難うございました！ 次の機会も是非ご参加ください ～

第7回 WRJ チャリティーリレーfor AFRICA にランナー、ボランティアスタッフとして参加して下さった皆様、例年以上に炎天下での開催となったことから、体調を崩された方や強烈に日焼けされた方も多かったかと思えます。暑い環境にも関わらず熱い思いで AFRICA に貢献して下さいまして本当に有り難うございました。

本大会の参加料と寄付金から大会経費を引いた余剰金で AFRICA 現地、スラムの子ども達の給食や貧しい家庭の少女達の奨学金プロジェクトを支援致します。当日 WRJ のブースにお立ち寄り頂いた方は内容についてより把握して頂けたのではないのでしょうか。

主役である約 600 名のランナーの皆様における、特にリレーのエキサイティングな雰囲気は会場全体にお祭りにも似た躍動感を醸成していたかと思えます。また、大人のランナーの皆様におかれましてはキッズランナーへの配慮やリレー中継所等におけるマナーアップにも御協力頂き有り難うございました。80 名のボランティアスタッフの皆様におかれましても全員が貢献して下さいしたことによって大会が安全に運営できたことに感謝申し上げます。ランナー、ボランティアスタッフの皆様全員が、疲労の中にもやりがいや楽しみなどそれぞれ得るものがあつたのであれば幸甚です。

2 月の新春ランニング感謝祭でも貢献して下さいましたゲストランナーのものまねアスリート芸人 M 高史さんは本大会でも大活躍して下さいました。開会式では、おなじみの歌手 Sunny^{※1}さんのタンザニア国家独唱に、SOULKNOCK あきさん^{※2}のジャンベと見事なコラボレーションでウクレレ伴奏して下さいました。閉会式におけるものまねジャンケンも非常に盛り上がっていたのではないのでしょうか。また、スタート前の薩田有紀代さん^{※3}による太極拳ストレッチもキッズランナーも含めて積極的に参加されていたようで何よりです。

リレーを筆頭に高い当日参加率や次代を担うキッズランナーの参加は「走る・支える・つながる」の WRJ にとって毎回励みになっています。日々お忙しい中で数ある大会の中から本大会を選んで下さいましたことにつきまして有り難く思うとともに、今後ともランナー、ボランティアスタッフ、または寄付といった形で WRJ への御支援を継続して頂けるよう進化してまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。

第7回 WRJ チャリティーリレー for AFRICA

実行委員長 和田 基靖 (WRJ 理事)

※1 Sunny さん : <http://www.happysunny.me/>

※2 SOULKNOCK あきさん : <http://www.soulknock.net/>

※3 薩田有紀代さん : <http://www.reservestock.jp/subscribe/20747>

～第7回 WRJ チャリティ・リレー for AFRICA～

本大会からの貢献額 268,138 円 (寄付金 39,093 円を含む)

種目	エントリー数	参加者数	参加率
リレー	109チーム	108チーム	99%
5km	87人	72人	83%
キッズ	24人	19人	79%
親子	46組	40組	87%
	第1位	第2位	第3位
リレー	152 チーム D 1:14'02"	156 海自呉かしま 1:15'43"	181 館山神余 RC 1:16'16"
5km	1018 添田 雅人 16'29"	1009 長田 紀輝 17'56"	1081 荒尾 圭 18'49"
キッズ	24 花井 敬太 12'37"	25 門井 龍太郎 13'31"	11 小森 空 13'32"
親子	541 花井 13'50"	507 あかねっぺ 15'49"	542 さくら 15'56"

天候・晴れ 気温・22.1℃ 湿度・60% 風速・4.1m/s (東) (10時)
(横浜地方气象台より)

M 高史さん

ゲストランナーとして、開会式、スタート・ゴール、閉会式と大いに大会を盛り上げて下さいました。有り難うございました。



薩田有紀代さんの陰陽太極拳によるスタート前ストレッチ



タンザニア国家を歌う
歌手の Sunny さん



ウクレレ伴奏の M 高史さん

ジャンベ伴奏のあきさん



皆様に育てられての大会です

参加者、スタッフ・ボランティア、ランナーの応援者、ゲストランナー (M 高史さん)、タンザニア国歌独唱 (Sunny さん) やジャンベ演奏 (SOULKNOCK あきさん)、新しい企画の陰陽太極ストレッチ (薩田有紀代さん) など、快晴の中、第7回の大会も盛り上がりました。現地文化に触れる企画等、WRJ はこれからも、楽しく、走って貢献できる機会を継続して提供してゆきます。

是非第8回大会にも、お誘い合わせの上、賑やかにご参加下さい。有り難うございました。

《WRJ 連絡先》

044-949-1068 (TEL/FAX)

E-mail : info@wri.jp

HP <http://www.wri.jp/>



みんなでゴール!!



ジャンバワークショップ



お疲れさん! よろしく! あと少し!!



ジャンバの演奏と共にスタート!

WRJ チャリティマラソン for AFRICA スタッフ・ボランティア

80人のみなさん ありがとうございました(敬省略)

秋田 ひかり	秋山 菜月	飯田 正一	朝倉 理子	石黒 莉彩
和泉 幸花	板倉 有希	大出 恭子	大熊 千晶	浦津 朱里
大野 みどり	大淵 秀仁	岡林 あす香	小川 望	小川 夏生
柏 正俊	加藤 典宇暉	加藤 南	金子 良太	岡本 真奈
加地 沙也子	木村 美樹子	菊地 広孝	串橋 徳昭	國廣 貴朗
久保 正義	鹿島 瑛帆	小松崎 康文	鹿島田 正文	稀代 晶子
斎藤 健三	小泉 江里子	幸加木 智博	佐藤 高志	佐藤 高正
Sunny	小林 賢司	小林 恵子	嶋永 誠二	佐久間 康弘
薩田 有紀代	杉浦 正宣	鈴木 香子	鈴木 珠乃	宮間 多恵子
住吉 健	角田 真樹	田口 達	長尾 未来	萩原 明日香
中田 彰生	栗石 まどか	萩原 綾子	宗 夏希	多羅尾 希
東郷 遥香	戸部田 伊織	豊岡 彩	細貝 博	丸山 みなみ
中池 ともみ	八田 舞	森 弘次	森田 敦也	細井 八千代
矢崎 芽生	矢部 健一	堀田 光紀	和田 基靖	真湊 悠子
儘田 秋水	松本 龍弥	松本 夏穂	山口 有咲	金城 燎
宮袋 さおり	長谷川 碧	美代 百合香	渡辺 隆司	安田 麗



イエーイ!! のかけ声で ハイポーズ!!

WRJブースチームからの報告

WRJ ブース班では、新しく物品販売を試みました。ひとつは春巻に似た東アフリカで食される「サモサ」を販売。これはインドをルーツとしますが欧米列強による植民地化により広まった様です。これがなんと 400 個を完売。前夜に終電まで調理した努力が報われました。

もうひとつが熱く走り抜けた後に欲しくなるのがビール。ケニアで最も有名な「タスカービール」を1本あたり約 350 円が支援となる様に 800 円で販売。とても飲みやすいのどごしなので、多くの方に楽しんで頂きました。でも、もう少し「安く」が次回課題ですね。

その他、WRJ オリジナル T シャツ販売や恒例となった Sunny さんによるタンザニア国家独唱とバナナ配付と、子供たちに大人気のアキさんチームによるジャンバワークショップ。そして展示や募金活動。募金だけで 1 万 8 千円もご支援頂き、本当に有り難うございました。

今後も多くの皆様にマラソン+αとしても楽しんでいただける様に大会を盛り上げたいと思います。

WRJ ブース班 大淵 秀仁 (WRJ 運営委員)



2015年WRJアフリカプロジェクトツアーについて

加藤 典字暉 WRJ代表理事

第一の目的は、完成が遅れていたタンザニア、ブル地域のシンギランドセカンダリースクールの工事の進捗を確認し、開校に向けたプロセスについて現地の人達と話し合いを持ち支援の必要も含め明確にしておくこと。第二の目的は、今年度からスタートした、タンザニアの貧困家庭の少女達への奨学金支給プロジェクトに対象として認定された2人の少女と先生に会い人間関係を構築して来ること。第三の目的は、現地パートナーとして非常に重要な役割を担ってくれているWRT(ワールドランナーズ・タンザニア)代表のスレーとお互いの未来に向けたビジョンを共有できたらと考えています。

なお、現状のリスクを勘案し、ケニアは訪問せず、タンザニアのみとしました。

参加者は7人、初参加は4人です。それぞれに深くアフリカに触れる機会として頂ければと願っています。

2015年WRJアフリカプロジェクトツアー(7月3日~7月12日)日程

7月 3日(金) 成田発 22:20 カタール航空ドーハ、ダルエスサラーム経由

7月 4日(土) キリマンジャロ空港着 14:20 アリュウシャへ移動

WRT スレーと打ち合わせ

アリュウシャ泊

7月 5日(日) 奨学金給費生達と面会、プロジェクト訪問

アリュウシャ泊

7月 6日(月) 早朝アリュウシャ発ブルへ、プロジェクト訪問

ブル泊

7月 7日(火) シンギランドセカンダリースクール訪問他

ブル泊

7月 8日(水) 早朝ブル発ンゴロンゴロクレーターへ

タランギレ泊

7月 9日(木) タランゲリサファリの後アリュウシャへ

アリュウシャ泊

7月 10日(金) アリュウシャ散策&ショッピングなど

7月 11日(土) 13:00 アリュウシャ発・・・15:20 キリマンジャロ発

7月 12日(日) ダルエスサラーム、ドーハ経由成田 17:55 着

2015年WRJアフリカプロジェクトツアー参加メンバーの一言

加藤 典字暉(WRJ 代表理事 16回目の参加)

67才獣医師、パーキンソン病と診断されて4年、まだ日常生活は人手を借りず対応できる状態です。AFRICAは1990年第1回WRJアフリカプロジェクトツアーから参加。今回で通算16回目の訪問になります。最近は毎回、「今回で最後」と言いつつ現地の人々に会うのを楽しみに出かけています。今回は、ブルで二つの教室の完成を視るのが第一、第二は、WRT(ワールドランナーズ・タンザニア)代表のスレーとWRJとWRTとの今後について多くの話が出来ればと考えています。

金子 良太(WRJ 副代表理事 2回目の参加)

トランスレーターチームリーダー

前回(2年前)、WRJが関わってきた複数のプロジェクトを見学し現地の人達の歓迎も受け、WRJの活動の成果を実感しました。今回の目的は、支援中のSingiland中学校の建設と、開始したばかりの女子中学生対象の奨学金制度等につき、現状を確認し今後の運営につき関係者と話し合うことです。計画



通り進んでいないものもあり、その理由を知り解決を図ることで少しでも進行できれば、と考えています。

WRJの活動以外では、前回見たタンザニアの田舎の風景、広大な平原、牛を追うマサイの子ども等、様々なシーンが今も記憶に残っています。ランニングをしていると、怪訝そうな顔で見られることもありましたが、「ジャンボ!」と挨拶すると、必ず返事をしてくれました。今回も、人類発祥の地と言われるタンザニアの大地と自然を見て、感じて、楽しみたいと思います。

矢崎 芽生(WRJ 理事(事務局長) 2回目の参加)

前回は初めてアフリカの地を訪問し、またワールドランナーズ・タンザニア(WRT)代表のソーレーさんとの初対面を果たし、緊張感のなか多くのことを吸収するという意気込みでした。今回は2回目であり、少し余裕を持って、現地を訪問できればと思っています。現在進行中のシンギランドセカンダリースクールはどうやったら早期完成が可能となるのか、新たにはじめた奨学金プロジェクトの奨学生となった少女たちの思い描く夢はどういうものであるのか、さらに、WRとの将来の支援についても協議できればと思っています。盛りだくさんになりそうですが、健康と安全に気をつけて行ってきたいと思っています。

現地より Facebook などを通じて、タイムリーな情報も提供できればと思っていますので、ぜひこちらもチェックしてみてください。



鈴木 香子(WRJ 理事 初参加)

WRJ では少女たちへの教育面の支援を開始しました。現地では「女性に教育は必要ない、とする伝統的な考え方やタブー」が存在するそうです。そのような事実を知ったのはほんの数年前でした。理解出来ず、強い怒りを覚えました。私自身は運良く日本に生まれ、学びたかった勉強をすることができたおかげで現在があります。遠い道のりであっても、男女が平等に扱われる日がくることを願って、彼女たちに会いに行きます。

初めてのアフリカですが、まさか私自身行く日がくるとは思っていませんでした。本を読んでも習得出来ないたくさんのことを見て、聞いて、学んでこうと思います。

大淵 秀仁(WRJ 運営委員 初参加)

WRJ では展示を通じて活動を知る機会の提供を担当していますので、人に伝える程に支援先への興味関心が強くなりました。

初のアフリカです。ケニアのスラムに入れなことは悔やまれますが、五感の全てで受け取り、リア

リティのあるタンザニア情報を伝えられる様になって帰ってきます。

5月にはWRJ発足のルーツとなるモスクワ赤の広場にも訪れ、個人的には大きな意味を持つ年にしたいと思っています。報告を楽しみにしててくださいね。

田口 達(WRJ 運営委員 初参加)

WRJ のもう一つの現場である支援先を訪問し、その状況を関係者のみなさんに伝えたいと思います。

仕事で東南アジア等の開発途上国にはよく行くのですが、実はアフリカの経験は少なく、東アフリカ訪問は初めてです。どんな人に会えるのか、タンザニアグルメは?! 野生動物を見られる! 等たくさんのおもしろさと少しの緊張が入り混じっています。

「走ることで国際貢献」を掲げるWRJには私を含め多くの賛同者がいます。ランニングイベントの参加者数やイベント当日のみなさんの姿を通してその関心の高さを実感しています。

WRJ の運営に携わる一人として、支援先の状況やニーズを把握し、それをお伝えできる機会にしたいと考えています。

日下部 博子(初参加)

5月のチャリティーリレー for AFRICA に参加したときに代表の加藤さんからお聞きし、「こんなにもアフリカに深く触れられる機会はまたとない!」と思い、急遽参加させてもらうことになりました。タンザニアの小学校への訪問など、普通の旅ではなかなか出来ない体験ができると、今からわくわくしています。また、動物を見るのが好きで、いつかアフリカに行ってみたいと思っていたので、サファリもとても楽しみです。出発まで自分なりにタンザニアについて色々調べてみたいと思います。

アフリカプロジェクトツアー報告会開催予定

アフリカチーム帰国報告会を開催します。ホットな情報満載で開催予定です。開催日時・場所等は、ホームページ、フェイスブック等でお知らせします。関心をお持ちの方もそうでない人もお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

ニュースレターで報告

次号80号は、アフリカ特集号です。セカンダリースクール教室建設工事進捗と開校予定や少女たちの奨学金プロジェクト。初めてアフリカ現地に触れた参加者の思いなど盛り沢山でお届け予定です。

土屋 祐巳子 WRJ 理事の紹介

1964年昭和39年小田原生まれ旧姓富田、小田原で美髪(きよらかみ)「楽」を経営、現役のオーナー美容師である。WRJとの出会いはWRJの理事をしていた美容師仲間から「富ちゃん、アフリカに行かない？」と誘われたのがきっかけだ。当時、年頭に「その年の自分の決め事」を創ってそれを守ることにしていた時で、その年の決め事は「他人からの誘いは断らない」というものだった。そして誘われるままに「行く」と答えたのだと言う。WRJの事は勿論アフリカの事も何も知らずWRJアフリカプロジェクトツアーに参加したのは1997年の事である。美容師としても独立はしておらず他の美容室でスタッフとして働いている時代だ。「客商売で2週間も休むなんて考えられなかった」という。自分の担当しているお客様には全てハガキで不在期間を事前にお知らせし、お店と一緒に働くスタッフにも迷惑のかからぬようマネージしたのは言うまでもない。この年を皮切りに2000年まで毎年アフリカに行く事になるとは、本人も知らない。本人の言によれば、今、理事としていられるのは、理事にと誘われた時『私は、RUNの方はやらない、アフリカだけでいいか』と聞いた時、代表に『それでいい』と言って貰えたのが大きな理由」とのこと、土屋理事にとってWRJ=アフリカプロジェクトなのである。「アフリカプロジェクトの要はファンドレイズ」だと言う、「自分のお金と時間をかけて行く、だからファンドレイズの為にシェアしてお金を集め自分の人生に違いを創らない」と言う。「飢餓を終わらせるために」力を尽くしてきた土屋理事にとって、気になる事がある。WRJで最近使っている「飢餓の無い世界のために」というフレーズである。「私たち自身で創り出す実感が伴わない」と言うのがそれである。「飢餓を終わらせる」と言う会話に力づけられてファンドレイズを集め続けている土屋理事は言う「私の拙い話を聞いて『あなたがそれだけ一生懸命言うんなら』と沢山のお客様がお金をだしてくれた。」そんなお客様を尊敬し感謝し誇りにも思うと言う。嬉しいのはお客様の中に確実にアフリカへの関心が広がっていることである。お店にはアフリカのアルバムが置いてあり、今もアフリカへとお金を置いて行くお客様がいる。「私は、お店のお客様とアフリカの現地の人達との橋渡しをさせて頂いているだけ」と言う土屋理事のアフリカへの思いは熱い。そして、それを可能にしているのはWRJというスペースであるし、代表の存在があるからだと言う。

お客様と造ったタンザニアの小学校



加藤 典字暉 (WRJ 代表理事)



美髪「楽」

お店のレジ脇に置いている
募金を入れるビン

アフリカ奨学金プロジェクト

タンザニアの少女に教育の機会を！

貧困のために、中学に行けない・・・ 学びたくても、学ぶことができない
貧しい農村の少女達に教育の機会を提供し、進学を支援をなさいませんか？

年間6万円の費用で、一人の少女が中学・高校で学ぶことができます。

中学4年間、高校2年間の計6年間の支援（6万円×6年＝36万円）で高校を卒業できます。
一人の少女と地域社会の未来に違いを創れるプロジェクト！！
あなたも奨学金のスポンサーになりませんか？

スポンサーは1口1,000円からご参加いただけます。

60口で一人の少女が1年間学校で学べます。お一人何口でも参加可能です。

WRJ 郵便振替口座

東京 00190-6-566997

加入者名：(特活) ワールドランナーズ・ジャパン

問い合わせ先：特定非営利活動法人ワールドランナーズ・ジャパン

電話 044-949-1068 電子メール：info@wrj.jp Web:http://www.wrj.jp

フルマラソン200回完走！

～次の目標は80歳で300回完走！～

35歳で初マラソンを3時間11分51秒で完走してから30年の年月をかけて200回を完走することができました。この中にはWRJアフリカプロジェクトで参加しましたタンザニアのマウントメール国際マラソンの2回が含まれております。奇しくも200回目が東京マラソンで達成となり読売新聞の都民版(2/18)と茨城版(2/22)に大きく(A4サイズ)掲載されました。支えていただきましたすべての皆さまに心から感謝を申し上げます。貢献のために走るというコンセプトはこれからもぶれることなく生涯走り続けます。6月20日現在、202回完走しました。引き続き応援を宜しくお願い致します。

WRJ 理事 柏 正俊

※柏理事はWRJランニングコーチとして走ることに貢献して下さっています。



WRJ 総会のご案内

日時：2015年8月29日(土)15時～ 場所：WRJ ワークスペース (川崎市多摩区菅仙谷 2-8-1-201)

※2014年度事業報告・決算報告等 2015年度事業計画・活動予算案等

※終了後、懇親会を行います。

※総会資料は、8月15日(土)発送予定です。

「チャリティーラン in グローバルフェスタ」報告

1994年から21年続けてチャリティーランを開催してきました。チャリティーランは、グローバルフェスタ(GF)JAPAN 実行委員会(外務省、独立行政法人国際協力機構＝JICA、特定非営利活動法人国際協力 NGO センター＝JANICで構成)が実施する一企画でした。今年のGFの会場が、従来の日比谷公園から「お台場・シンボルプロムナード公園」で開催することに決定しました。この結果、GFメイン会場の日比谷公園と皇居周回コースを使用していたチャリティーランを実施しないことになりました。

WRJは、グローバルフェスタ JAPAN2015の展示ブースに従来通り参加します。

WRJのビジョン「日本に、走ることを通して貢献するという新しい文化を創作し、根付かせ、拡大してゆく」を具現化します。詳細が決定しましたらお知らせします。

徳永 京一(WRJ 副代表理事)

グローバルフェスタ JAPAN2015

【日時】 2015年10月3日(土)、4日(日)

【会場】 お台場・シンボルプロムナード公園

不定期ランの報告



定期ラン番外編の不定期ランですが、4月には2回も走ってしまいました。

4月5日(日)には「隅田川を走って月島でもんじゃ焼きを」と花見にはちょっと遅い朝から雨の日曜日。わずかに残っていた満開の木を見つつ桜吹雪の中、隅田川に設置されたテラスを一路月島へと走りました。

4月29日(水)は「多摩ロード50を完走」。多摩川サブスリーを目指す会と共催で途中の出入りはありましたが、総勢24名が参加。全行程(羽村駅から羽田空港、通称"羽羽")を走ると60km程になります。不定期ランには、ちょっとロングですが、完走者10名のうち定期ランチームは3名参加。アフターは、蒲田の羽根付き餃子、羽羽+羽根のハネ三昧のGW最初の走り込みとなりました。

佐藤 高志 (WRJ 副代表理事)



穴守稲荷の大鳥居にゴール



桜吹雪の中のランニング



定期ランの報告



第78号NL発行後、定期ランを4回開催。

3月はよみうりランド周辺での開催でした。京王相模原線「京王稲田堤」駅より徒歩約10分のところにWRJのワークスペースがあります。そこを拠点にして、急坂を上ったり、途中林の中を走るなどトレイル的なランを楽しみました。終了後はよみうりランドの横にある「丘の湯」へ。その後はワークスペースにて加藤代表の美味しい手料理(写真は一部です)を堪能しながらの懇親会でした。参加者は9名でした。

4月は多摩川での開催でした。南武線「矢川」駅より多摩川を目指して歩くと「国立温泉湯楽の里」があります。そこを拠点に上流目指して走ります。その後、温泉に浸かって汗を流し、青空宴会です。花見を期待したのですが、時期は少し遅かったようでした。9名の方が参加されました。

5月はいつもの皇居周回コースでの開催でした。「神田」駅集合してからいつもの「お玉湯」へ。終了後は駅前の居酒屋で懇親会です。参加者はなんと14名でした。

6月は荒川河川敷での開催でした。JR「北千住」駅から徒歩約10分のところに「美登利湯」があります。そこに荷物を預けてから荒川河川敷の日の出町緑地球技場より上流に向かっての往復走でした。1週間前に「柴又100K」で100kmを走った佐藤 高志副代表理事によるリードでした。銭湯の後は駅前の居酒屋で懇親会を開催しました。参加者は5名でした。

鈴木 香子 (WRJ 理事)

定期ランのご案内



WRJでは、ランナー同士の交流の場として、毎月第二日曜日に定期ランを開催しています。場所は、主に皇居周回ランニングコース(1周5km)で、竹橋をスタートして反時計回りに走ります。14時40分に神田駅北口(新宿・上野寄り)の改札口前に集合します。直接行く人は15時30分に竹橋駅・和気清麻呂銅像前集合です。15時40分~17時までの間に1周~3周を走ります。1周目はグループ走、2周目以降は自由走です。18時から懇親会を開催しています(主に「白木屋」・神田西口駅前店:03-3251-9288、20時終了予定)。これから走ろう、花の東京の真ん中を走ってみたいと思っている方、一度参加してみませんか?

定期ラン連絡用 アドレス teiki-run@wri.jp

(定期ランマネージャー佐藤 高志、和田、鈴木理事に届きます。)

※連絡が取れない場合は WRJ 事務局まで (044-949-1068 加藤方)

◎次回:7月12日(日)(第254回)

集合:14時40分集合 ※JR神田駅北口 改札口前
15時30分 ※竹橋駅・和気清麻呂銅像前



編集後記

「ワンディ フォー アザーズ」という体験プログラムにより、明治学院大学の学生さん29人が当日ボランティアとして参加し、大会運営に力を発揮してくれました。“一日を誰かの為に”ということでの参加。本当にありがたいと思いました。多くの学生さんがランナーとして、ボランティアとして参加してくれていた山中湖で行っていたセーブザチルドレンリレーのことを思い出しました。大会当日は、楽しそうに走る姿や応援する姿、タスカールビール、サモサなどアフリカのことを思い、過ごした一日でした。飢餓を終わらせ、子ども達に教育の機会を提供する。今回のアフリカプロジェクト訪問、報告が大変楽しみであります。

(佐藤 高志)